

サラリーマン世帯の主婦 500 名に聞く「2008 年冬のボーナスと家計の実態調査」

**5 年ぶりに「減った」(34.6%)が「増えた」(29.0%)を上回る**

**平均手取金額は 70.5 万円**

**主婦の“へそくり”(夫に内緒の資産)平均金額は 461.3 万円**

**臨時ボーナスをあげたい人 No. 1 は、「石川遼」**

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社(代表取締役社長:澁谷 達雄)では、全国の 20~50 代の、サラリーマン世帯の主婦 500 名(各年代毎 125 名 平均年齢 39.8 歳)を対象に、「2008 年冬のボーナスと家計の実態」をテーマとしたアンケートを、2008 年 12 月 11 日(木)~15 日(月)に実施いたしました。

ボーナス手取額の増減を昨冬と比較すると、5 年ぶりに「減った」が「増えた」を上回る結果となっており、日本経済の減速が家計にも直撃する結果となりました。このような不況の影響が深刻化する中、約 6 割の主婦が家計に心配事が「ある」と回答し、家計の見通しは良好とは言えないようです。また、生活防衛のためにしたいことを聞いたところ、「自分も働く」「節約をする」という回答も多く見られ、厳しい家計状況を自主的に乗り切ろうとする姿勢が垣間見られました。

「主婦のへそくり(夫に内緒の資産)」に関しては、4 割強の主婦が「ある」という結果になりました。平均へそくり額は約 460 万円で、中には 4,000 万円という回答も見られました。

第 17 回損保ジャパン DIY 生命アンケート「2008 年冬のボーナスと家計の実態調査」の結果概要は、以下のとおりです。

### 「2008 年冬のボーナスと家計の実態調査」の主な結果

#### 〈2008 年冬のボーナス〉

冬のボーナス「減った」は 34.6%、「増えた」は 29.0%。平均手取額は 70.5 万円。

<参考> 2007 年冬:「減った」:24.2% 「増えた」:36.8%

この冬、臨時ボーナスをあげたい人は、「石川遼」、「エド・はるみ」、「羞恥心」、「自分」。

ボーナスの中から夫に渡した小遣いの平均額は、6.9 万円。40 代「渡さない」は 5 割弱。

ボーナスの使い道は、「預貯金」(64.2%)が突出。

#### 〈家計の実態〉

家計の現状は、“苦しい”(61.8%)、“楽である”(38.2%)。

2009 年、家計に大きく打撃を与えそうな心配事が「ある」が 61.0%。心配事トップは“不況による収入の減少”。

2009 年、生活防衛のためにしたいことは、“節約”・“蓄え”・“妻の労働”。

もし主婦が総理大臣なら、国民生活を守るために“補助金等の支給・給付、費用の無料化”がトップ。

2009 年の家計天気予報は、「曇り」(189 件)が突出。

家計簿をつけている主婦は 53.6%。20 代、30 代の使用が 6 割前後で顕著。

定額給付金の使い道は、「預貯金」が 33.2%でトップ。

#### お金にまつわる話

結婚後夫からもらったプレゼントで最も高額なものは「宝飾品」がトップ。平均額は 29.8 万円、最高は 600 万。

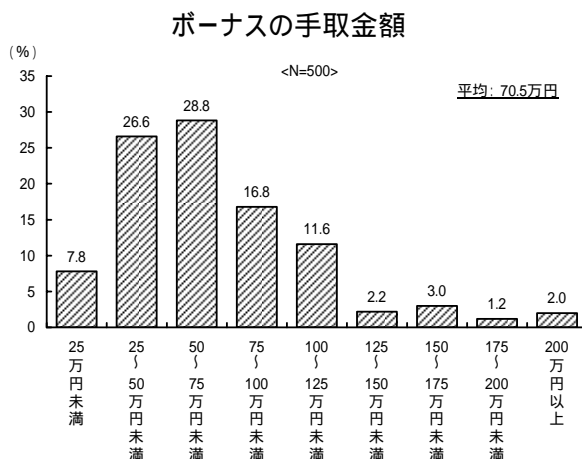
夫に内緒の資産(へそくり)を持っている主婦は 42.0%。平均額は 461.3 万円。最高は 4,000 万円。

## 2008年冬のボーナス

**「減った」(34.6%)が「増えた」(29.0%)を上回る。増減平均は、-1.7万円。  
ボーナス平均手取額は、70.5万円。ボーナスが「減った」は、2003年冬以来5年ぶり。**

幅広い業種での企業業績悪化が進む中、サラリーマン世帯の主婦に夫が受け取った冬のボーナス手取額をうかがいました。

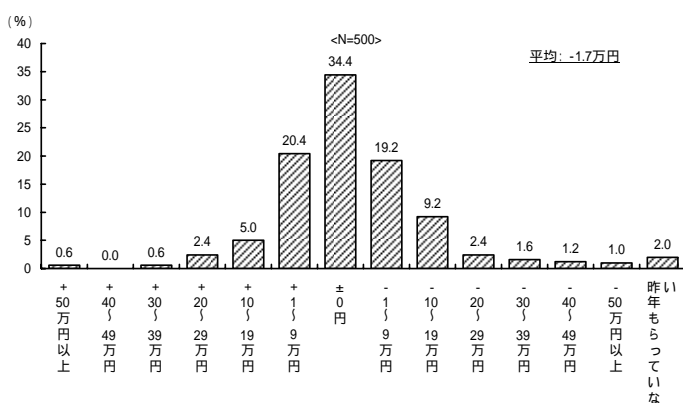
「50～75万円未満」(28.8%)、「25～50万円未満」(26.6%)がともに3割弱を占め、次いで「75～100万円未満」(16.8%)の順となっています。平均手取額は、70.5万円です。



さらに、今冬のボーナスの手取額の増減を昨冬と比較すると「減った」(34.6%)が「増えた」(29.0%)を大きく上回っており、2003年冬の調査以来5年ぶりにマイナスが上回る結果となりました。「±0(変わらない)」は、34.4%です。平均増減額は、-1.7万円と昨年の増減平均である+1.0万円に比べ大幅に減少しています。

昨年と比較したボーナス手取金額の増減額

増減の推移



	マイナス (%)	プラス (%)	±0 (%)
2003年冬	53.0	24.2	21.0
2004年冬	30.8	37.6	30.4
2005年冬	26.0	39.4	34.6
2006年冬	21.6	40.8	34.0
2007年冬	24.2	36.8	34.6
2008年冬	34.6	29.0	34.4

今冬のボーナスの使い道についてうかがったところ、もっとも多いのは「預貯金」(64.2%)が6割強と突出しており、次いで「生活費の補填」(37.4%)、「ローン・クレジットの支払い」(36.0%)の順となっています。とりわけ、昨冬使い道の4位に位置していた「衣料品・服飾費」(23.6%)は、今冬は16.6%と大幅に落ち込み、ボーナスでの買い控えが鮮明になっています。

また、「預貯金」(64.2%)は20代では73.6%と、7割を超える結果となっており、“生活防衛意識”が高い年代であることがうかがえます。

## 臨時ボーナスをあげたいと思う人

スポーツ界トップは「石川遼」(88 件)、芸能界トップは「エド・はるみ」と「羞恥心」(各 39 件)。その他では、「自分」が 15 件でトップ。

今年これまでに大いに活躍している人やグループで、臨時ボーナスをあげたいと思う人を「スポーツ界」、「芸能界」、「その他」の 3 分野から自由にあげていただきました。

スポーツ界は、プロ 2 年目を迎えた「石川遼」(88 件)がトップとなっています。以下、北京五輪で大活躍を見せた「北島康介」(46 件)、「上野由岐子」(38 件)が続いています。

芸能界では、第 1 位に「エド・はるみ」と先日解散した「羞恥心」(各 39 件)が同数であげられています。3 位には、「羞恥心」メンバーの「上地雄輔」(22 件)がランクインしています。以下、「宮崎あおい」(17 件)、「嵐」、「EXILE」(各 6 件)の順となりました。

それ以外の分野で最も多かったのは、「自分」の 15 件でした。主婦の『家計を守った自分自身をねぎらいたい』という本音がうかがえます。2 位は、「ノーベル賞受賞者」(9 件)、ついで受賞者の一人である「益川敏英教授」(6 件)が 3 位にランクインしています。

### <臨時ボーナスをあげたい人ランキング>

芸能界			スポーツ界			その他		
順位	人 名	件数	順位	人 名	件数	順位	人 名	件数
1	エド・はるみ	39	1	石川遼	88	1	自分	15
"	羞恥心	39	2	北島康介	46	2	ノーベル賞受賞者	9
3	上地雄輔	22	3	上野由岐子	38	3	益川敏英教授	6
4	宮崎あおい	17	4	浅田真央	23	4	橋下徹大阪府知事	4
5	嵐	6	5	高橋尚子	13	5	オバマ次期大統領	3
"	E X I L E	6	6	イチロー	12	"	麻生太郎総理	3
7	みのもんだ	5	7	錦織圭	10	"	母	3
8	S M A P	4	8	太田雄貴	8			
"	ジェロ	4	9	女子ソフトボール日本代表	7			
"	タモリ	4	10	クルム伊達公子	6			
"	福山雅治	4						
"	水谷豊	4						

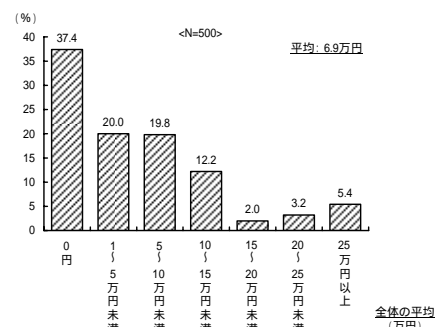
### ボーナス内から夫に渡す小遣い額

ボーナスの中から夫に小遣いを「渡した」が 62.6%。渡した額は、「1～5 万円未満」(20.0%)と「5～10 万円未満」(19.8%)が多く約 2 割ずつ。平均は 6.9 万円。

夫に、主婦がボーナスの中から渡した小遣い額をうかがったところ、「渡した」(62.6%)が 6 割を越えています。

しかし、妻の年代別にみると、40 代は「渡さない」が 44.0%と際立っており、子供の教育費や住宅ローンなどの出費がかさむためか、夫の小遣いの削減が余儀なくされているようです。

ボーナスの中から夫に渡した小遣い



年代	0円	1万円未満	5万円未満	10万円未満	15万円未満	20万円未満	25万円以上	全体の平均 [万円]
20代 <n=125>	34.4	31.2	19.2	8.0	1.6	0.8	4.8	4.7
30代 <n=125>	35.2	27.2	18.4	8.0	0.8	2.4	8.0	7.7
40代 <n=125>	44.0	12.0	18.4	17.6	1.6	2.4	4.0	5.7
50代 <n=125>	36.0	9.6	23.2	15.2	4.0	7.2	4.8	9.6

## 家計の実態

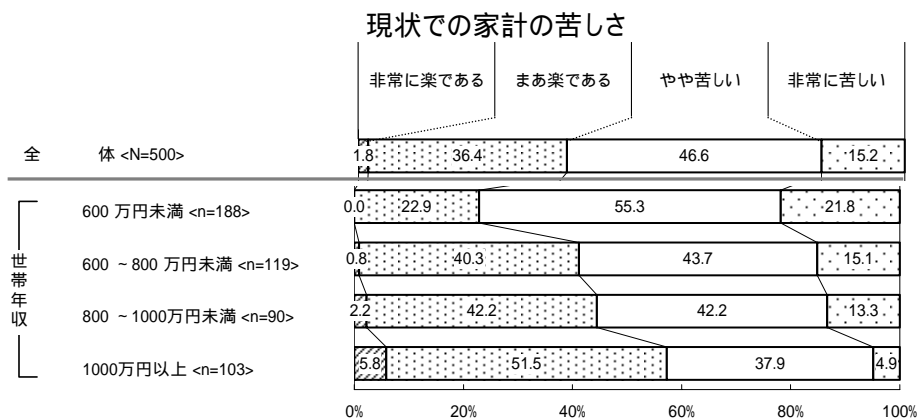
**「苦しい」(61.8%)が、「楽である」(38.2%)を上回る。  
家計の見通しも「厳しくなっていく」(59.8%)が約6割と悲観的な見通しが多い。**

家計をやりくりしている主婦は、現在の家計を苦しいと感じているかどうか、サラリーマン世帯の家計の現状についてうかがいました。

「非常に苦しい」(15.2%)と「やや苦しい」(46.6%)をあわせた『苦しい』(61.8%)が6割を超える結果となっています。一方で、「まあ楽である」(36.4%)と「非常に楽である」(1.8%)をあわせた『楽である』は、38.2%という結果になりました。

世帯年収別に見ると、600万円未満が『苦しい』(77.1%)と最も感じており、8割弱を占めています。

全体を昨冬と比較しても、「非常に苦しい」が10.8%から15.2%と伸びており、ギリギリの生活の中、家計をやりくりしている家庭が多いようです。



### 2009年、家計に大きく打撃を与えそうな心配ごとの有無

**「ある」(61.0%)が6割を超え、心配事トップ3は、「不況による収入の減少」(110件)、「不況による会社の経営悪化」(60件)、「支出の増加」(54件)。**

#### 2009年、家計に打撃を与えそうな心配事

順位	内 容	件数
1	不況による収入の減少	<110>
	給与が下がる/カットされる	68
	残業が減り収入が減る	15
	ボーナスがカットされる	13
	給与が上がらない	6
	残業代のカット/サービス残業が増える	5
2	不況による会社の経営悪化	<60>
	リストラされる	29
	会社の業績が悪化している	10
	妻が失職する	9
	夫の会社が倒産する	6
	就職難で子供が就職できない	4
3	支出の増加	<54>
	子供が進学する/教育費が増える	41
	ローンの返済額が上がる	7
	家族の病気で治療費がかかる	5
	マンションの修繕積立費が上がる	1

家計に大きく打撃を与えそうな心配ごとがあるかどうかあったところ、6割を超える主婦が「ある」(61.0%)と回答しています。

心配ごとの具体的な内容は、「給与が下がる/カットされる」(68件)などの「不況による収入の減少」が多くあげられています。

また、「不況による経営悪化」に関連する内容では、「リストラされる」(29件)などの雇用状況への危機意識が浮き彫りとなっています。

不況の影響による家計への不安は主婦の避けられない悩みようです。

## 生活防衛のためにしたいこと

2009年生活防衛のためにしたいことは、「節約する、出費を抑える」(81件)、「食費を抑える」(47件)などの“節約”(257件)が圧倒的。以下、“貯蓄”(67件)、“妻の労働”(66件)と続く。

### 2009年、生活防衛のためにしたいこと

順位	内 容	件数	
1	節約	<257>	
		節約する、出費を抑える	81
		食費を抑える	47
		生活費全般を抑える	28
		外食を減らす	25
		旅行、レジャーを減らす	20
		光熱費を抑える	12
		贅沢品を買わない/贅沢をしない	10
		無駄なものを買わない	9
		衣料品の購入を抑える	8
		家庭菜園を始める	5
		娯楽費を抑える	4
		教育費を抑える	3
		弁当を持参する	3
リサイクルショップで購入する	2		
2	貯蓄	<67>	
		貯金する/貯金の額を増やす	43
		預貯金を預け替える	20
		外貨預金をする	4
3	妻の労働	<66>	
		自分も働く	24
		パートに出る、アルバイトする	23
		内職をする	7
		自分の仕事を増やす	6
		サイドビジネスを始める	3
		収入の多い所に転職する	3

2009年、主婦が生活防衛のためにしたいことを具体的にあげてもらったところ、最も多いのは、「節約する、出費を抑える」(81件)、「食費を抑える」(47件)などの“節約”という結果となりました。

3位の“妻の労働”では、「自分も働く」(24件)、「パートに出る、アルバイトをする」(23件)など、夫に加えて自らの労働で生活費を稼ごうとする姿勢が見えます。

そのほか、「投資を始める、金融商品を購入する」(22件)や、「住宅ローンを繰り上げ返済する」(9件)といった“住宅ローン”に関する内容や、「保険を見直す」(5件)などがあげられています。

家族を巻き込んで、堅実な方法で家計を守っていかうとする意気込みが垣間見える結果となりました。

## 国民生活防衛のための生活

もし主婦が総理大臣なら、国民生活を守るために実施したい政策トップ3は、“補助金等の支給・給付、費用の無料化”(120件)、“消費税の引き下げ・廃止”(77件)、“所得税減税”(77件)。

もし主婦が総理大臣なら国民の生活を守るためにどのような政策を実施しようと思うか、具体的にあげてもらいました。

### 主婦が総理大臣なら、国民生活を守るために実施したい政策

順位	内 容	件数	
1	補助金等の支給・給付、費用の無料化	<120>	
		子供がいる世帯に育児給付金を支給する	36
		医療費の補助、医療控除額を増やす	17
		子供の教育費、大学進学費用を補助する	14
		定額給付金を増額する	11
		子育て世帯に手厚い保障をする	9
		子供がいる世帯は減税する	9
		年金額をアップする/年金をきちんと支給する	8
		児童手当の期間を延長する/増額する	4
		教育関連の費用を無料にする	4
		出産費用を無料にする	4
		子供の医療費を無料にする	4
2	消費税率の引き下げ・廃止	<77>	
		消費税を引き下げる	31
		消費税を廃止する	30
		期間限定で消費税を下げる/なくす	10
	消費税を上げない(現在の税率を維持する)	6	
2	所得税減税	<77>	
		所得税等の税金を下げる	28
		定率減税を実施する	21
		配偶者控除を引き上げる	16
		高額所得者から税金を多く徴収する(累進課税方式にする)	12

「子供がいる世帯に育児給付金を支給する」(36件)などの“補助金等の支給・給付、費用の無料化”に関する政策が最も多くあげられています。

また、“消費税率の引き下げ・廃止”、“所得税減税”などの税に関する政策が続いています。

そのほか、“公費の抑制”(73件)も多くあげられています。

教育・医療に関連した政策が多くあげられる結果となりました。

## 2009年のわが家の家計天気予報

曇りが(189件)と突出。以下、「曇りのち雨」(51件)、「晴れ」(40件)、「曇りのち晴れ」(31件)、「晴れ時々曇り」(30件)などが続く。

2009年のわが家の家計はどのようになると予想しているのか、天気予報風に例えてもらったところ、トップは「曇り」(189件)となっています。

そんな中、「晴れ」(40件)、「曇りのち晴れ」(31件)、「晴れ時々曇り」(30件)という“晴れ”の結果も目立っています。家計の天気が少しでも晴れてほしいとの願いがうかがえます。

2009年、わが家の家計天気予報トップ5

順位	内容	件数
1	曇り	189
2	曇りのち雨	51
3	晴れ	40
4	曇りのち晴れ	31
5	晴れ時々曇り	30

## 家計簿の有無とその形態

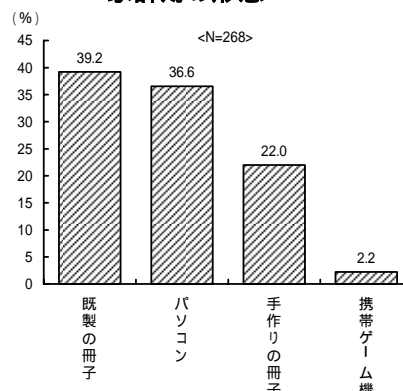
「つけている」(53.6%)が多数。特に20代、30代は6割前後と使用率が高い。形態は、「既製の冊子」(39.2%)と「パソコン」(36.6%)が多い中、「手作りの冊子(ノート等)」(22.0%)も人気が高い。

主婦は日頃から家計管理のために家計簿をつけているかについてうかがったところ、「つけている」(53.6%)が半数を超える結果となりました。

とりわけ20代と30代は家計簿ブームの後押しもあってか、「つけている」(61.6%・59.2%)が他の年代より高い結果となりました。また、家計簿の形態は、「既製の冊子」(39.2%)と「パソコン」(36.6%)が4割弱で、「手作りの冊子(ノート等)」(22.0%)が続いています。

「既製の冊子」と「手作りの冊子」をあわせた『アナログ』と「パソコン」「携帯ゲーム機」の『デジタル』の使用を年代別で比較すると、40代は『アナログ』と『デジタル』が5割前後と人気を二分していますが、20代、30代、50代は『アナログ』が6割を超える意外な結果となりました。

家計簿の形態



年代	既製の冊子 (%)	パソコン (%)	手作りの冊子 (%)	携帯ゲーム機 (%)
20代 <n=77>	40.3	32.5	24.7	2.6
30代 <n=74>	44.6	33.8	17.6	4.1
40代 <n=60>	35.0	48.3	16.7	-
50代 <n=57>	35.1	33.3	29.8	1.8

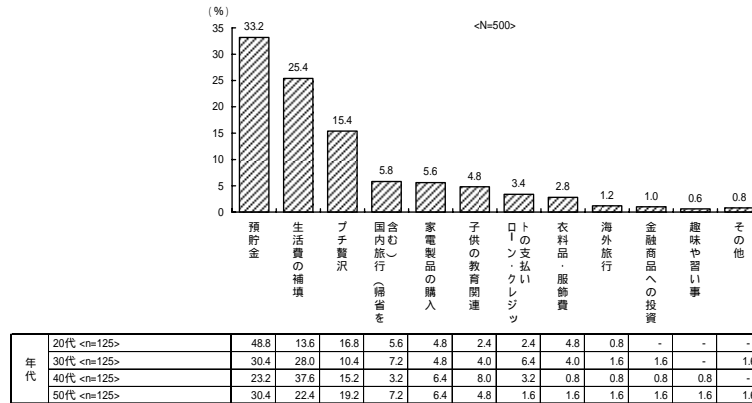
## 定額給付金の使い道

**「預貯金」(33.2%)がトップ。以下、「生活費の補填」(25.4%)、「プチ贅沢」(15.4%)が続く。**

定額給付金が給付されたらどのように使おうと思っているのかうかがったところ、最も多いのは「預貯金」(33.2%)で、3割強。次いで多いのは「生活費の補填」(25.4%)で2割強、さらに「プチ贅沢」(15.4%)が1割強と続いています。

妻の年代別に見ると、20代では「預貯金」(48.8%)がとりわけ多く半数弱を占めているのに対して、40代は、「生活費の補填」(37.6%)がトップで、「預貯金」(23.2%)は2割強と他の年代を大きく下回る結果となりました。

定額給付金の使い道



## 結婚後夫からもらったものの中で最も高額なものとその金額

**「宝飾品」(30.4%)がトップ。次いで、「バッグ、靴、財布」(15.2%)、「衣類」(6.2%)と続く。「取り立ててあげるほどの物をもっていない」(29.6%)は約3割。平均金額は29.8万円。**

主婦が結婚後に夫からプレゼントされたものの中で最も高額なものとその金額をうかがいました。最も多いのは「宝飾品(指輪、ネックレス、ピアス、イヤリングなど)」(30.4%)で3割を占めています。次いで「バッグ、靴、財布」(15.2%)が多くあげられており、以下、「衣類」(6.2%)、「家電品(パソコン、ウォーターオープン、サイクロン掃除機など)」(5.6%)などが続いています。

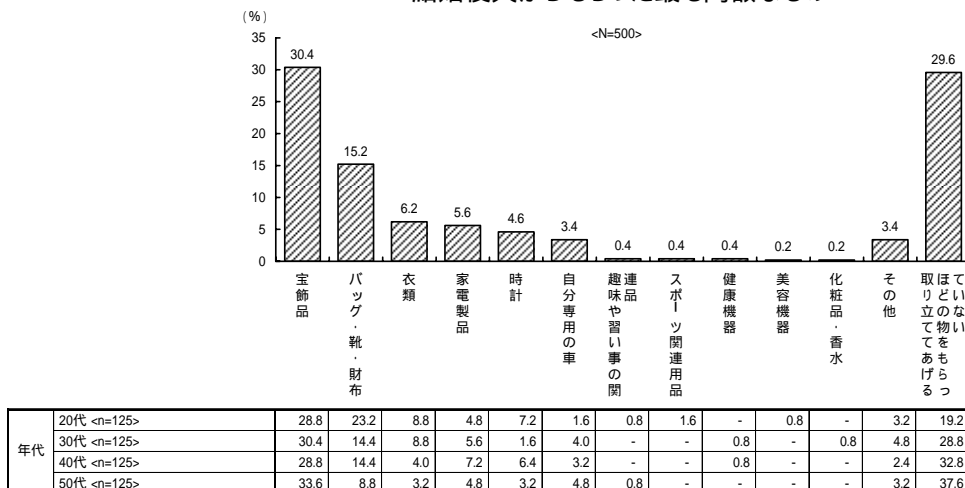
その一方で「取り立ててあげるほどの物をもっていない」(29.6%)が約3割を占めています。

妻の年代別では、「取り立ててあげるほどの物をもっていない」との回答は年齢の高い人ほど多く、50代(37.6%)では4割弱を占めています。

次に、もらったものの金額もあわせて聞いたところ、「5万円未満」(26.4%)が2割強と最も高くなっています。平均金額は29.8万円です。

ちなみに、最高金額は600万円で、もらったものは「自分専用の車」です。

結婚後夫からもらった最も高額なもの



## 夫に内緒の資産(へそくり)と資産額

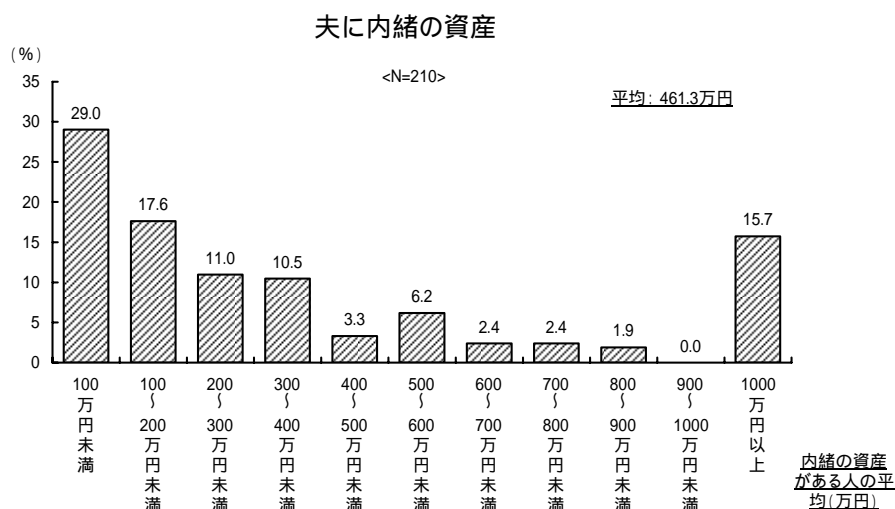
**夫に内緒の資産を持つ主婦は、42.0%。へそくり平均金額は、461.3万円。最高金額は4,000万円。**

サラリーマン世帯の主婦は、夫に内緒にしている資産(へそくり)をどれくらいの割合で、いくら所持しているのかがありました。「ある」(42.0%)は4割強で、「ない」(58.0%)が6割弱という結果となりました。妻の年代別に見ると、20代・30代は「ある」(39.2%、36.8%)が4割弱にとどまっていますが、50代(48.8%)では半数弱、40代(43.2%)も4割強を占めています。

所有する資産額では、「100万円未満」(29.0%)が3割弱と最も多く、以下、「100～200万円未満」(17.6%)、「200～300万円未満」(11.0%)、「300～400万円未満」(10.5%)がそれぞれ1割強となっています。「1,000万円以上」という回答も15.7%と少なくありません。

平均は461.3万円で、最高金額は4,000万円(2名)でした。

不況の中でも、主婦は大事な資産であるへそくりを確実に守っているようです。



年代	20代 <n=49>	30代 <n=46>	40代 <n=54>	50代 <n=61>	100万円未満	100万円～200万円未満	200万円～300万円未満	300万円～400万円未満	400万円～500万円未満	500万円～600万円未満	600万円～700万円未満	700万円～800万円未満	800万円～900万円未満	900万円～1000万円未満	1000万円以上	平均(万円)
20代 <n=49>	55.1	21.7	22.2	19.7	20.0	35.7	28.6	43.9	37.8	8.9	20.4	-	-	-	2.0	152.9
30代 <n=46>	21.7	21.7	24.1	6.6	20.0	14.3	18.5	21.2	20.0	13.3	14.8	4.1	4.3	-	4.1	431.5
40代 <n=54>	22.2	24.1	11.1	8.2	14.3	7.1	11.8	9.1	6.7	20.0	9.3	3.6	3.6	1.9	4.3	304.8
50代 <n=61>	19.7	6.6	8.2	4.9	17.1	12.5	7.6	7.6	11.1	13.3	11.1	1.7	0.8	-	3.3	869.9
妻の職業																
正規有職 <n=35>	20.0	20.0	14.3	17.1	-	5.4	6.7	3.0	5.7	3.7	6.7	2.5	1.7	0.8	2.0	458.7
パート <n=56>	35.7	14.3	7.1	12.5	5.4	5.4	2.5	1.5	5.4	1.8	6.7	3.6	3.6	-	1.6	380.6
専業主婦 <n=119>	28.6	18.5	11.8	7.6	3.4	6.7	2.5	1.7	6.7	2.5	1.7	1.7	0.8	-	3.3	499.9
世帯年収																
600万円未満 <n=66>	43.9	21.2	9.1	7.6	3.0	1.5	3.0	1.5	1.5	3.0	1.5	-	-	-	1.5	267
600～800万円未満 <n=45>	37.8	20.0	6.7	11.1	-	11.1	-	4.4	4.4	2.2	2.2	2.2	-	-	2.2	358
800～1000万円未満 <n=45>	8.9	13.3	20.0	13.3	6.7	11.1	-	2.2	2.2	2.2	2.2	-	-	-	2.2	588.2
1000万円以上 <n=54>	20.4	14.8	9.3	11.1	3.7	3.7	5.6	1.9	3.7	-	-	-	-	-	25.9	678.9

### <主婦のへそくり平均所持率と平均金額の推移>

年	持っている (%)	ボーナス平均手取額 (万円)	へそくり平均金額 (万円)	最高金額 (万円)
2005年冬	45.6	69.5	241.3	-
2006年冬	49.0	69.3	306.3	3,500
2007年冬	43.0	66.6	245.0	2,000
2008年冬	42.0	70.5	461.3	4,000

へそくりを所持している主婦の平均金額。

### 本件に関するお問合せ先

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社  
 パブリック・リレーションズチーム 担当: 杉山、河上、袴田  
 〒164-8685 東京都中野区中野 5-68-2  
 TEL: 03-5437-9028 URL: <http://diy.co.jp>